

# 「新庁舎建設に関する地区別説明会」の質問・意見等の記録

## 【会場：札内福祉センター】

1	日 時	平成23年10月24日（月） 19:00～21:35
2	会 場	札内福祉センター 大集会室
3	参 加 者	46人（ほか報道機関2人）
4	町出席者	町長、副町長、総務部長、企画室長、建設部長、札内支所長、企画室参事、企画室副主幹

### 住民

建設スケジュールでは完成が平成27年度。現庁舎は非常に危険な状況。直ちに役場から退去すべき。そういった状況で職員は仕事をしている。役場に行く町民も同じことである。

であれば、保健福祉センターとかに事務所を移して対応すべき。この辺は何の話し合いもされてきていないはず。

「現庁舎は危ないので新庁舎を建設する」、その前にやるべき事があったのではないか。対応が遅いのでは。

### 町

平成16年3月に役場庁舎の耐震診断を実施したが、町としては、旧耐震基準で建設された昭和56年以前の学校、9校を優先に、子ども達の安全性を確保する観点から、耐震診断、耐震補強工事を優先的に行ってきた経緯がある。

学校については、一定の目途がついたことから、庁舎の建設に関する検討を現在しているところである。

### 町

補足。震度6強の地震が発生した場合、崩壊等の危険性が高いとの診断結果であった。先の十勝沖地震の際も、柱のせん断破壊があったが、一定の補修工事を行っている。

診断結果を受けて、直ちに分散設置すべきとの意見ではあるが、役場の、あれだけの機能を有したものを移すことは難しいということもあった。

地震がいつ発生するかという状況ではあるが、役場の耐震等のあり方について検討を現在進めているところである。

### 住民

今の説明では納得がいかない。我々住民はどうかつに役場に入りができないではないか。そう思うが…。

### 住民

耐震の診断結果が出て7～8年。その結果を受けて町は何の反省（検討）もなされていない。庁舎は住民にとって非常に大切なところ。

広報を見たが、議会の議論にあっては、あとは「建設場所」の検討のみとなっているようだ。

今日の説明会というのは何なのか。何故、町民の声を聞かずして進めてしまうのか。

町民目線に立った町政のあり方に期待をしているところ。協働のまちづくり。町民と一緒にあって、町執行部が同じ目線に立って、庁舎建設の話が出てくるのであれば理解もできるが…。そうではない。

幕別町は三極化している。そういった中で庁舎の建設場所は、「現庁舎敷地内に」と選定されている。

分庁舎の設置。我々の思い（陳情）は、不採択となった。これ（陳情）だって、町民の意見である。

札内で4箇所の説明会を開催する。同じことを説明してどうする。住民が近くの会場で参加できるようにとの配慮であろうが…。

今後、住民からの意見を聞くような場の検討はしているのか。

#### 町

この説明会は、原案、たたき台を皆様にお示しして、皆さんの意見を聞いて進めていく。この原案を議会に対して提案した。もちろん「議案」として提案したものではない。

我々が庁舎建設を検討する際に、何の原案もなくお諮りすることはできない。住民の皆様からも、何の原案もなく提案すれば、「何を言ってるんだ」となることは想像が付く。

このため、役場の内部で検討をして原案を作成し、議会で検討をしてくださいと。そして住民の皆さんに説明して、様々の意見を聞いて、「建設場所はそこでは駄目だ」、「6,000㎡は大き過ぎる」、あるいは「分庁舎方式が良いのではないか」。という意見を聞いて検討作業を進めていく。

ですから、この原案をもって「決定」しているものではなく、今後必要となれば、アンケートも必要になってくるだろうし、最後の意見をお聞きする場を設けていく必要があれば、検討していかなければならない。

あくまでも、役場が考えた内容の説明であって、決定したことの報告ではない。議会に対しても、決定の依頼をしているものではない。議会は議会自らが、この原案に対して内部で検討するため、特別委員会を設け、検討を進めているところである。

町民の皆様を「無視している」とか「意見を聞かない」、「決定していることをただ報告に来ている」ということだけではないことを理解していただきたい。

#### 住民

あくまでも「たたき台」という説明。必要となれば、住民に対するアンケートを実施する、検討して「実施する」ということで理解してよろしいか。

#### 町

必要に応じて、「アンケートを実施すべきか」、「再度説明会を実施すべきか」、あるいは「コメントを頂くような手法」が良いのかについて、今回の説明会が一通り終わって意見を集約し、検討させていただきたくと考えている。

#### 住民

資料2の7ページの13番では、住民参加の手法として「住民アンケート」、「パブリックコメント」、「住民懇話会」、「住民説明会」の順に記載があり、順番としては最後に記載のある「説明会」。今日のこれがその説明会。全て決定している内容の説明会ではないか。

#### 町

住民参加の手法については、町長からの説明にもあったように、適切な時機を捉えて、適切な手法を選択させていただき実施を検討するというもの。

ですから、今回は皆様からの色んなご意見を寄せていただきたいという説明会である。

#### 住民

2つ確認したい。

①公債費の推計についてだが、幕別町に入る税収については、どの様に推計しているのか。税政面での減収は考えていないのか。将来に渡って使えるお金。消防のデジタル化に5億1千万円。青葉町道営住宅関連事業に2億という計画がある。

このような、総合的な財政の観点から、庁舎の問題も位置付けていかなければならない。幕別町は非常に貧乏なマチ。所得の少ない方が多い。年収が200万円以下の方が圧倒的多数。交付税を払えるかどうか分からない状況で、国も破綻寸前。こんな状況の中で役場の建設問題の話が出た。何かがおかしい。

建物が住民サービスを行うものではない。だから、建物は最低限のもので良い。このような状況で誰がお金を払っていくのか。公務員が払うのではなく町民全体で負担していくもの。これを大前提に考えて欲しい。

②新庁舎の建設場所の選定やメリット・デメリットの資料があるが、(役場)の忝意性を感じる。

例えば資料4、「身近に事務所があり、住民の方は安心感が持てる」とある。本町に役場を建てて、身近に感じるとはどういうことか。

また、三極化している中であって、本町が忠類と札内の中間点に位置するとある。全くそう感じない。子どもでも分かること。その根拠は如何に。

#### 町

財政について。公債費の推計に関する税金については、平成22年度の税金をベースに据え置いて推計したもの。

交付税については、前年度比の2%減で推計。交付税は所得税などの国税5税を財源に国から地方へ配分されるもの。

また、起債制度については、世代間の公平の原則から認められている制度。道路を整備するにしても、借金をして返済していく。これは後世代の住民も利益(道路)を受ける(利用する)といった観点から、後年次の世代についても負担をお願いする地方債制度としてあるもの。

合併特例債は、借金に違いはないが、借入額(95%)に対して7割を交付税で賄われる、非常に有利なもので、新庁舎建設するのであれば、後年次の負担を抑えていくためにも活用することを前提に説明をさせていただいた。

#### 町

「身近に事務所があり、住民の方は安心感が持てる」との話だが、これは庁舎を分散設置した場合のメリットとして記載したもの。本庁舎だけのことに限って表現したものではない。

また、消防のデジタル化、公営住宅の問題、福祉の関係もある。庁舎を建設することによって、他の仕事ができなくなるといことにならないために財政計画のもとで庁舎建設と他の事業を並立しながら進めていく。

庁舎を建設して、住民の皆様の要望に応えることができなくなるといったことには絶対になってはならない。

庁舎を建設するに際しては、皆様の貴重な財源を使う訳だから、個人の見方によっては色々あるであろうが、最低限ものをと考えている。

本町が忠類と札内の中間点とのことだが、札内から見れば札内も中間点かもしれない。現庁舎が本町にあることから、忠類から見れば本町が中間点という声もあるところ。誤解があるようであればお許しをいただきたい。

#### 住民

合併特例債については分かった。問題なのは、これから人口が減少していく中になって、税金も減っていく。80年代、90年代のように右肩上がりの状況ではない。交付税だって、今後増えていくことはあり得ない。

しかし、必要な経費があり、人件費だって上げなきゃならない。色んな維持経費もかかってくる。除雪経費も必要。次々と住民サービスの基本となる経費が絶対に必要となってくる。漏れ聞くとところによると敬老会を廃止するとの話も耳に入っている。直接住民に関わることが次々と乏しくなっていく。

町にとって23億のお金は大きい。それを考えたときにバラ色で（財政計画を）見込んでよいものか。

それで、消防のデジタル化や青葉の住宅の問題とお金がかかる。庁舎建設の23億だけではなく、こういった事業を考えれば、30億、40億と経費がさらに必要となってくる。この辺をちゃんと考えてやっているのか。

町の考え方は逆さま。「町のシンボル」という言葉に現れているが、住民サービスと取り違えているのではないか。公共サービスは「人」がやるもの。「施設」ではない。

今一番必要なのは防災の問題など。隣の老人は誰が助けるのか。札内に災害本部がない。途別川が氾濫したらどうするのか。想定外と言えない。住民が自立した防災対策がとれるよう、そういったところにお金を使うべき。

#### 町

国の財政計画に連動して、市町村の財政も安定して運営できるように制度が作られている。そういったことを踏まえ税制制度の改正が行われ、交付税の調整も行われる。

#### 町

当然、建物が行政サービスを行うとは考えていない。「シンボル」という表現だが、決して華美なものを想定して表現しているものではない。建物自体は、住民の方が立ち寄り易く、行政サービスが提供しやすい、そういった機能を持った建物として考えている。

防災については、災害が起きた時点では、地域の方にご協力をお願いしながら対応していくこととなるが、その後の対応なども踏まえて、防災計画の中にも定めており、防災の本部が機能して指揮命令等を行う。これはどこか1箇所に集中しなければならないと考えている。

#### 住民

私は、庁舎建設のあり方を考える会の代表として、陳情書を提出し、特別委員会で陳情内容を説明させていただいた。結果的には庁舎の分散設置と庁舎1箇所設置の採決で、分散設置は不採択となったところ。

ところが、只今の町長の説明を受けて、今日の説明会の提案はたたき台であって、住民の意向を踏まえながら再検討するとのことであったので、懐深く、非常に安心した。

裁判であれば一事不再議の原則があり、覆ることはないが、これは裁判ではなく、そういったことはないとのことで、意を心強くしたところ。

是非、住民の意見を根っこから聞いて、どうあれば良いのかを再検討していただければと思っている次第。

町長の説明にあった、必要に応じてアンケートなどの実施もあるということで、考え方が広まったと思っている。是非、そのように意見の中心がどこにあるのかをもう一回考えていただければと思っている。

地方交付税の今後展開について、総務省の担当者に回答していただいた。国会で答弁されるような模範回答であって、「今後とも市町村の財政状況を見ながら、地方の交付税のあり方には最大限協力する。」とのことであった。

帯広市の市会議員が言うには、交付税が「この分だ」と、はっきり色が付いて戻ってくるのであれば分かるが、算定方法が複雑であり、年々分割して戻ってくる。合併特例債に係る交付税は減らないにしても、他の交付税が今後減ることは十分あり得る。色が付いていないお金だから、全く将来のことは分からない。

なぜなら、国は大震災以降、非常に財源が乏しく、増税という噂もある。国がそういう状況にある中で、あまりに合併特例債に対する過度な信頼は甘いのではないかと思っている。この辺はどのように考えているか。

## 町

交付税の動向は、私のみならずどこの市町村にとっても一番の関心事。国の財政状況によって、交付税が増えたり減ったり。あるいは政権が代わることによって変わることも。色んな要素がある。

一部を除けば、全国の市町村の殆どが交付税に頼っている。国としても地方を切り捨てるようなことには、先ずはならないだろうと。もちろん交付税の額に増減があることは想定されるが、急激に10あったものが、5や4、3になるとは考えられない。

合併特例債のあり方については、合併特例債があるから今のうちに庁舎を建設するとか道路を整備するという考えではない。

あくまでも、必要な事業に対して、その起債に合併特例債を充てることが町にとっても住民皆様にとっても、有利であるからそういう手法を執るものであって、特例債があるからといって、何をやっても良いとは毛頭思っていない。慎重な取扱が必要であろうと考えている。

## 住民

今日は、このような説明会を開催していただき、ありがたく感じている。

一つ質問。現庁舎の床面積が3,819㎡。それが案では6,000㎡。約50%大きくなる。

保健福祉センターは、近くにあり、平屋で耐震性にもあまり問題がないし、今後も使用可能な施設である。その保健福祉センターを新庁舎に集約するという説明。教育委員会も併合することのこと。

この場合、現庁舎の50%も建物が大きくなるほど、保健福祉センターや教育委員会がそれだけのものを必要としているのか。

逆に言うと、保健福祉センターのように耐震的に問題がない施設であれば、わざわざお金を掛けてまで、現在機能している保健福祉センターを新庁舎に吸収する必要はないのではないかと。

むしろ、必要であるならば、将来高齢者が増えるので、保健福祉センターの仕事は益々大事になっていくので、保健福祉センターの機能を拡充していく事の方が、新庁舎建設よりコスト的に変わってくるのではないかと。

これから人口減少社会。爆発的な人口増加はとて期待できない。職員数にしても、庁舎の床面積にしても、縮小していく方向にあるべきでは。

役場の情報も効率化してきているから、札内・本町間の情報交換もすぐにはできるような状況。この機能的な面は益々高度化していく。

児童生徒の減少に伴う学校の統廃合。全く同じとは言えないが、将来的に幕別町の人口（職員数）も減少が見込まれる。

保健福祉センターや教育委員会を集約するために、新庁舎が50%も大きくなる必要は、考えにくいのではないだろうか。

集約しなかった場合は、どの位経費が安くすむのか。この辺がとて大切。できるだけ建設費用は抑え、住民の負担を少なくしていくことが大切。

最後に一つ私の理想を、『役場など、公的施設ばかりが立派で、町が寂れているよりも、町が活性化し、質素な役場であっても、活発に仕事に取り組む職員が、その姿を見られ、そして、幼い子ども達が生き生きとして活動している。』、そんな町を理想としている。

他の市町村が羨むような幕別町の行政が行われている、また、住む人間にとって誇り高い幕別町になって欲しい。町長、どうか頑張ってください。

## 町

現在、保健福祉センターには老人デイサービスや老人クラブなどの団体活動、陶芸教室などを開催している。

これら全てを庁舎の中に取り込むというものではない。福祉課、こども課、保健課の事務ス

ペースが261㎡ほどある。この事務所スペースを庁舎に集約したいという考え。転入届を役場本庁舎に提出し、例えば介護保険の相談については、保健福祉センターに足を運んでもらうことに。といった問題もあり、新庁舎は今後50年60年と使用することから、集約化を考えた案である。同様に教育委員会についても、転入届後、詳細な学校の相談は教育委員会に出向いてもらっているという現状にある。

教育委員会の事務所スペースも約255㎡。これらを取り込んでも案の6,000㎡にはならない。合計しても4,400㎡程度。

職員数については、ここ数年は変わらないが、20年後、30年後となれば分からない。場合によっては、減少するかもしれない。しかし、国や北海道からの事務移譲が多く、直ちに職員を減少させるとは言い切れない部分もある。

新しい庁舎などは、オープンスペース。現庁舎は学校の教室スタイル。住民の方からすると入りづらい。苦情もある。

オープンスペース・フロアにすると一定程度の面積が必要となること。また福祉などでは、他のお客さんに相談内容等を聞かれないような個室の確保などが必要であることから、国の起債基準から算出した5,070㎡に、防災対策室等のスペースも踏まえ、今の庁舎にはない機能のスペースも加味し、最大値で6,000㎡とお示したものの。比較検討するための数値であって、決定しているものではない。

#### 住民

説明を受けたが、やはり現庁舎との比較で50%増は疑問に感じる。大きければ大きい程、お金が掛かる訳だから、予算を少しで少なくするという前提に立って、不便があったとしても、我々町民もその不便も共有していきたいと考えているので、少しでもお金を使わないで欲しい。

#### 住民

幕別町の企業誘致。大企業に幕別町の土地を誘致すべき。ただ募集するのではなく、企業に出向いた働き掛けを。税収にも繋がっていく。この辺りはどう考えているか。

出先の職員を本庁舎に集約。出先の施設も人員と規模を考えて建設したはず。出先の職員を集約した場合、残った出先と連携がとれなくなるのでは。

#### 町

企業誘致に関しては、町も努力させていただいている。中々、目に見えた形で、大企業が来てくれるという実態には至っていないことから、指摘のあったことについて、重々配慮しながら努めていきたい。

新庁舎の面積については、基本方針の案には集約後の面積を含めているが、皆さんからの意見を参考にして、最大で6,000㎡との案であるから、縮小も考えられる。

#### 住民

公区長を務めていた。幕別町（職員）の、基本的な地方公務員としての、行政機関としての、考え方がおかしい。

一般の会社であれば、社訓とか理念をきちんと持っている。幕別町（役場）には、それが無い。何を目標として地方公務員の仕事をしているのか。これが一番大事。

町民は血税を払っている。職員は町民の公僕。幹部職員に問いかけたが、「分からないことがあれば、電話でも良いので聞いてください。」と言われた。腹が立った。分からないことがあれば、頭を下げて聞きに来いということ。公区長を務めていたときに幹部にそう言われた。この町は少しおかしいと思った。

主権は町民。職員を養っている。新庁舎建設についても、町民のためではなく町職員のためのもので、感じを受ける。

忠類との合併時において、対等な合併ができないものかと（札内支所に）聞いても、本庁でな

いと分からないとの回答。また保健福祉センターでは、紙オムツの申請をしたが、「前のもの（申請書or証明書？）は年度が古いから、もう一回（何か？を）もらってきたら証明書（決定通知？）をあげます。」と言われ、（何かが分からないが）持って行って、提出したら、「先生の証明があるから証明（申請？）は出さなくてもよい。」と言われた。これはどういうことか。

町長は先日議会で、「職員は研修している」、「十勝管内で一番研修を受けている」と答弁。その研修を受けている職員は、それで終わり。何故、他の部課職員に対する（研修内容の）周知徹底をしないのか。研修の効果が現れていない。

町長はやり残したことがあるとのことで、今回立候補。そのやり残したことを全然住民に教えない。（庁舎建設のことを公約に謳っていない？）

（公区の）要望も、今年は沢山要望があるので、今年は後回し。来年また要望を提出してと。去年要望をしているのであれば、それが優先されるべき。人を小馬鹿にしている。反省して。

#### 町

ご意見承った。職員が皆様に十分応える仕事ができなかったこと、これは私の指導不足。十分これから気を付けていきたい。

しかし、職員もそれなりに一生懸命やているのだらうと思っている。もちろん、皆様から見れば、十分ではない点、不手際があろうかと思うが、反省しながら、研鑽を深めながら、期待に応えられるよう努めてまいりたい。

#### 住民

幕別町の理念は何か。

#### 住民

その幹部職員の名前は。

#### 町

本題ではないので、その話は収めていただきたい。

#### 住民

10月13日の北海道新聞で、「住民税非課税で、医療負担減」との記事。早速札内支所に聞いた。担当者は「あっ、これは…??」という感じだったけれども、彼は優秀ですぐに調べてくれて、手続方法を教えてくれた。

町で対象者が分かっているのであれば、自発的に（周知）して欲しい。それが町職員の仕事。

本庁に比べて挨拶する職員は半分。幹部職員は「何しに来た」といった感じでとんでもない。一般の会社ではあり得ない。

現庁舎は埋め立てしている。30数年で庁舎がダメになるということは、埋め立てしているから。建設費用23億というが、基礎工事にかかなりの費用を要することになる。でないと、また同じことになる。

幕別町に住んでいても、帯広に勤めている方が大半。帯広で稼いで幕別町に（税金を）いただいている。幕別町は空っぽ。その辺（企業誘致？）も考えて。

#### 住民

財政について尋ねたい。幕別町の実質公債費比率は21.3%、悪い順番で道内で9位、管内では1位となっている。とても悔しく思う。

5億でも10億でも、借金を減らす努力をしていただきたい。今の借金は開基100年事業で抱えたもの。借金に対する交付税の補填があると言うが、（考え方が）甘いのではないか。

さらに23億もかけて庁舎を建設。第2の夕張市になるのではないかと心配している。

補助金をあてにして、庁舎を建設すると言うけれど、後世に残った借金を払っていけるのか。

就職難の状況や国の状況を見るとあてにならない。

そういったものをあてにしないで、庁舎問題を考えるべきと思うが如何か。

#### 町

実質公債費比率は、今後間違いなく下がっていく。借金をしたとしても、話のあった第2、第3の夕張市のようにはない。これは確信をもって言えること。

現在、幕別町には200億の借金があつて、さらに20億の借金をしたら、220億もの借金となるのではないかと。しかし、仮に合併特例債を借りたとしても、平成26年若しくは平成27年に20億を借りることとなる。現在の借金は毎年10億ずつ返済している。

来年3月には180億台になる見通し。さらに10億ずつ減っていくと、20億を借りる段階（平成26～27年）では、おそらく160億か150億になっている。仮に20億を借りても170～180億ぐらいになるだろう。

もちろん、借金は少ない方がよい。皆様に負担の掛からないような財政運営をこれからも努めていかなければならないし、合併特例債ありきではない。十分気を付けていきたい。

#### 住民

周囲の人達は、庁舎建設は既に決定していることだからと、今日の説明会には参加しないと発言していた人も多くいた。結果、今日の説明会の参加者も少ない。

しかし、町長の説明を聞いて、たたき台としての案であることに安心したところ。

耐震性に危険があるということは、住民にとっても問題があること。もし日中に大地震が発生したら大被害となる。そう言った意味では、庁舎の建設は賛成である。

もし建設するのであれば、庁舎が光るような形にすべき。経費を抑えることはもちろん大切。真四角なマッチ箱のような、サイコロのようなものにはして欲しくない。それで良いと言う方もいるが、私はそう思わない。

やはり、幕別町のシンボルとなるような庁舎を建設していただきたい。道庁の赤レンガだとか東京駅のような大小に関わらず、そこに住む住民が誇りに思えるようなものを建設して欲しい。

現庁舎の敷地は、地盤が悪いと言われている。庁舎横に地震計があるが、本町ほど札内は揺れないことは、はっきりとしている。

できることなら、国道沿いのスマイルパークにシンボルとして建設してはどうか。

また、職員の意欲や社交性も大切なもの。どこかの大学を出ているからとかではなく、町長からも伝えていただきたい。職員研修も人を見て、開発や北海道に研修へ行かせるべき。そうすることによって、町民と職員、職員と町長という繋がりが温かいものになっていくと思う。

#### 町

非常に貴重な意見。十分参考にさせていただく。

#### 住民

今日の会場の机はもっと余裕をもって配置を（48席を配置）。また、沢山意見を言いたい方がいる中で、冒頭から8時半で終了予定と仕切られては、皆が我先となる。配慮を。

一流の幹部職員が検討した内容であるものと思うが、我々住民には良く分からない。住民の中に鋭く追求できる方は多くない。だから町民は直感（である。）になる。何かがおかしいと。

個人的に50人位の方と対面し、庁舎建設問題について話を聞いた。誰一人として現在の案に賛成者はいない。誰も賛成者はいない。ただし、（町との）仕事の関係上、町長の前で意見を言えないという方が、3人いた。それも率直な意見と思う。やはり後世に借金は残して欲しくない。子孫達が借金を背負うような町政の進め方はして欲しくないという声が圧倒的。

そう言った意見を大事にさせていただきたい。皆様の意見を真摯に受けとめていただければありがたい。



我々は行政をチェックしなければならない。こんなに優しい（会場の）方々は初めて。本当であれば罵倒されているはず。これを謙虚に受けとめるのであれば、少なくともこの案の見直しは必要になってきて然るべき。

今、町長の顔を見れば、「これは変えなきゃならん」という顔をされているようであるので、ありがたく拝見しているところ。

#### 住民

役場職員はつっけんどん。税務課は税務署に代わって仕事をしているから（詳しくは）分からないと。職員研修はされているとのことだが、仕事にそれが反映されていない。役場に行っても「何しに来たという顔」で高圧的。札内の郵便局はとても親切に対応してくれ、気を使ってくれているのを感じることができる。

どこの部署の職員も、自分の仕事のことをよく理解していない。役場は商店みたいなものだから、住民あつての役場である。仕事についても住民に応（答）えられるように研修をするべき。

#### 住民

今日の説明会に地区の議員が参加すると前もって聞いていたので（参加議員に）質問する。

（10月号の広報を見て）議会の第3回の特別委員会で、「コストを低減し、使える備品は再利用する」とあるが、この備品とは何か。

第4回の特別委員会で、「人口比率から札内支所の機能強化が必要」。これは、新庁舎が完成する4～5年後までは、このままということか。札内支所は本当にお客さんが多い。

それと幕別町の今後の人口推計について。想定外？想定外とは言わせない。これは町から回答を。

#### 町

議員も参加されているが、今日は町（行政）の説明会ということであるから、参加されている議員が発言することにはならない。

ただ、札内支所の業務については、改善できることから順次改善していくことが必要であるし、機構改革についても内部協議をしている段階でもあるので、そういった観点からも十分詰めていく。決して庁舎が完成するまで関係がないというものではないので、出来ることから改善していきたいと考えている。

#### 町

町では総合計画を平成20年3月に策定している。職員が精密に人口推計を行うことは無理であるので委託をしているが、平成20年3月の時点では、平成29年度の人口を28,000人を目標にしている。

しかしながら、去年の国勢調査の速報値では、26,542人と5年前を2%ほど下回った。

将来的な推計では、厚生労働省が推計したものがあるが、道内においては、札幌市以外は全て人口減少市町村になると言われており、幕別町においても国の推計によると24年後の平成47年には、23,734人という数値が発表されている。町として独自に推計したものは持ち合わせていない。

#### 住民

資料2の7ページ、住民参加については、どの様な見方で記載したのか。

7月の広報などでも、軽々に庁舎を建設するという発言が事実としてある。

先日、町民会館で説明会が開催された。出席者は18人。本町の方は危機感を感じているのか疑問に感じた。

町が、現庁舎敷地内に庁舎建設を決定したかのように記載するので、人が（本町の会場では）

集まらない。

今日は、たたき台の説明会であるから、いずれ懇話会のような機会を設けていただけるのかどうか。

町

それぞれの会場で、それぞれいただいた意見を持ち帰って、十分加味しながら検討をする。その次の段階として、アンケート調査がいいのか、あるいは最後の報告会とか懇談会の開催がいいのか、これからの全部の説明会が終わったあとに協議をしていきたいと考えている。

住民

報告書を流すだけではなく、もう一度説明会を開催するのかどうかを聞いている。

町

繰り返しになるが、先程来申し上げているとおり、どういう手法が良いのか今後十分協議して方向性を出したいと考えているので、ご理解を。

住民

町の危機管理体制について・・・・。

参加住民の方から、「今日は新庁舎建設に関する説明会であって、行政に対する相談会ではないのでは」との声により、場内参会者同意のもと終了した。(21:35)